



「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2013の様子
(平成25年5月30日(木)あいち産業科学技術総合センターにて)

平成26年6月11日(水)

○愛知県産業労働部

・あいち産業科学技術総合センター
企画連携部企画室

担当 鹿野、小久保

電話 0561-76-8306 (ダイヤルイン)

・産業科学技術課科学技術グループ

担当 吉富、福田、中川

内線 3383、3382

電話 052-954-6351 (ダイヤルイン)

○公益財団法人科学技術交流財団

・知の拠点重点研究プロジェクト統括部

担当 富田、山本、村山、安部

電話 0561-76-8380 (ダイヤルイン)

「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2014 の参加者を募集します！ —超早期診断技術開発プロジェクト—

愛知県は、大学等の技術シーズを企業の製品化につなげる産学行政連携の共同研究開発プロジェクト『「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト』^{※1}を実施しています。

このたび、生活習慣病等を早期に発見するための技術の確立を目指す「超早期診断技術開発プロジェクト^{※2}」に関する研究成果及び今後の実施計画について、県民の皆様並びに関連企業に広く知っていただくため、「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2014を開催します。

今回は、本年度から本プロジェクトに参加する(公財)愛知県健康づくり振興事業団が実証試験を行うあいち健康プラザ(東浦町)にて、セミナーと開発品の展示・実演を行います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

- 1 行事名 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2014
—超早期診断技術開発プロジェクト—
- 2 日時 平成26年7月12日(土)13時30分から16時30分まで
- 3 場所 あいち健康プラザ 健康科学館 ヘルスサイエンスシアター
(知多郡東浦町大字森岡字源吾山1番地の1)
- 4 参加費 無料
- 5 定員 250名(先着順)
- 6 主催 愛知県、(公財)科学技術交流財団、(公財)愛知県健康づくり振興事業団
- 7 後援 (独)国立長寿医療研究センター、ウェルネスバレー推進協議会、
大府市、東浦町

8 内容

○セミナー（13:30～15:30）

時間	タイトル	発表者（所属等）
13:30 ～ 14:00	「超早期診断技術開発プロジェクト」 について	おおたみちお 太田美智男氏（プロジェクトリー ダー・名古屋大学特任教授・椙山 女学園大学教授）
14:00 ～ 14:30	「健康管理と超早期診断」	つしたかずよ 津下一代氏（あいち健康の森健康 科学総合センター センター長）
14:30 ～ 15:30	本プロジェクトの紹介 ・血管機能を測定する ～血管の健康が体の健康～ ・尿中の塩分を測定する ～尿による健康管理～ ・呼気ガス成分を測定する ～呼気水素測定の意味～ ・身体の動きを測定する ～シートセンサで床ずれを予防～	ますだひろゆき 益田博之氏（(株)ユネクス代表取 締役社長） おくむらこういち 奥村弘一氏（(公財)科学技術交流 財団主幹研究員） こんどうたかはる 近藤孝晴氏（中部大学生命健康科 学部教授） ま せ けんじ 間瀬健二氏（名古屋大学大学院情 報科学研究科教授）

○展示・実演（13:30～16:30）

簡易血管機能測定装置^{*3}、尿中塩分測定装置^{*4}、呼気ガス分析装置^{*5}、寝姿・呼吸
動作センシング織物^{*6}ほか

9 申込方法

参加申込書に必要事項（会社名、電話番号、氏名、所属、E-mail アドレス）を記入の
うえ、FAX 又は E-mail でお申し込みください。

*参加申込書の入手方法：本県の HP からダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000072833.html>

<申込先>

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部
FAX：0561-21-1653 E-mail：juten-p3@astf.or.jp

10 申込締切

平成 26 年 7 月 8 日（火）17:00 まで（ただし、定員に達し次第締め切ります。）

*参加受付証は発行しませんので、お申し込みの上、直接会場にお越しください。

なお、定員超過の場合のみ連絡させていただきます。

11 問合せ先

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部

TEL：0561-76-8380 FAX：0561-21-1653 E-mail：juten-p3@astf.or.jp

用語説明

用語	説明
※1 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト	高付加価値のモノづくりを支援する研究開発拠点「知の拠点あいち」を中核に実施している産学行政の共同研究開発プロジェクト。大学などの技術シーズを企業の製品化へつなげる橋渡しの役割を担う。
※2 超早期診断技術開発プロジェクト	(下記に記載)
※3 簡易血管機能測定装置	動脈硬化の目安となる血管の弾力性等を把握し健康管理に活かすため、簡易に血管機能を測定する装置。
※4 尿中塩分測定装置	食品等から摂取した塩分の量を把握し健康管理に活かすため、尿中のNa(ナトリウム)とK(カリウム)を測定する装置。
※5 呼気ガス分析装置	体の消化器系の活動状況を把握し健康管理に活かすため、息に含まれる水素ガス等を測定する装置。
※6 寝姿・呼吸動作センシング織物	織物自体に圧力や伸びのセンサ機能を持たせることで、寝姿や呼吸動作がセンシングできるもの。

※2 超早期診断技術開発プロジェクトの概要

プロジェクトリーダー	名古屋大学 特任教授 太田美智男 氏
内容	超高齢化社会において、全国的に増加が予想される脳・循環器系疾患、がん、生活習慣病を早期に発見するために、工学系の研究者と医学系の研究者(医師)が医工連携体制を構築し、痛みがない、少ない、簡易な早期診断技術や日常的な健康モニタリング技術を確立する。
参加機関	16大学6公的研究機関18企業(うち中小企業10社)(平成26年4月1日現在) 【16大学】名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、愛知県立大学、中部大学、愛知学院大学、愛知工業大学、椛山女学園大学、中京大学、豊田工業大学、名古屋市立大学、京都工芸繊維大学、埼玉医科大学、広島市立大学、広島大学、北海道大学 【6公的研究機関】(独)国立長寿医療研究センター、(独)産業技術総合研究所、(公財)愛知県健康づくり振興事業団、愛知県がんセンター、あいち産業科学技術総合センター、(公財)科学技術交流財団